

HIROSHIMA  
広装協  
**NEWS**

2025年10月 20号(通巻87号)

広島県室内装飾事業協同組合

〒733-0003

広島市西区三篠町1丁目7番4号

TEL 082-239-9281 FAX 082-239-9282

URL <http://hirosokyo.jp>

発行責任者 広報・渉外委員会委員長

岡田 浩士

ご挨拶

理事長・(株)マルケン装飾



岡田 展政

まず初めに、組合員の皆さまの平素からのご理解とご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

昨年度も、建設業界を取り巻く環境は非常に厳しく、原材料価格の高騰、人手不足、と輪をかけて厳しい状況が続いておりました。

そのような中で先期は竹内前理事長から引き継がさせて頂いて最初の1年目でした。いろいろと行き届かぬところが多かったと思いますが、理事をはじめとする皆様のおかげでなんとか1年を過ごすことができました。ありがとうございます。

先期の印象深い事業としましては、国土交通省中国地方整備局との意見交換会、そして若手人材の定着を目指した研修会、また技能者育成動画の作成がありました。技能者育成動画につきましては第2弾下地処理編を作成しました。こちらの動画につきましては広装協のホームページに正組合員のページを新設しましてそちらで公開をさせて頂きます。事務局よりID・パスワードが発送されますので、そちらを入力して視聴してください。若手技能者の育成にご活用頂きたいと思います。

また、日装連インテリアデコレーター資格試験も厚生労働省の社内検定試験として生まれ変わっ

て実施されました。今年も資格試験が実施されますので、奮っての受験をお願いいたします。

1期2年の折り返し点を迎えたので2年目もしっかりと業界のために取り組んで参りたいと思っております。

1年を経過して感じているのは組合員さんへの情報発信をもっとしっかりとしなければいけないというところです。この点につきましては現在FAXでの発信となっているところをEメールへ切り替えをしていきたいと思っております。また、ホームページで我々業界に関する法令の改正や関連行政の取り組みなどもお伝えしてまいりたいと思っております。そして、引き続き人材採用、育成に関する事業も続けて参ります。

我々内装業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況ではあると思いますが、できることをコツコツとこなして前進をしていきますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

組合員皆さまのご健勝とご多幸、そして事業のご繁栄を心より祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 第61回通常総会・永年勤続従業員表彰式・懇親会を開催

広島県室内装飾事業協同組合は、5月30日(金)広島市・リーガロイヤルホテル広島で、午後4時より第61回通常総会を開催し、令和6年度の事業報告及び決算報告の承認、令和7年度の事業計画並びに予算の決定等は原案どおり可決した。

この日総会は、岡田理事長の開会の挨拶に続き、広島県中小企業団体中央会 総務企画部主事の赤羽政哉様から祝辞をいただいた後、議長に中島副理事長を選出して議事に入り、5つの議案を審議し全てが承認された。

続いて行われた永年勤続従業員表彰式では20年勤続表彰者1名、10年勤続表彰者13名、5年勤続表彰者7名の計21名の内、実出席の11名の方に岡田理事長より表彰状と記念品が授与された。被表彰者を代表し有限会社ティーエムプランニング松村大地様が謝辞を述べた。

午後6時から行った懇親会では、岡田理事長の

挨拶に続いて来賓を代表して広島県職業能力開発協会 技能振興コーナー長 武田明彦様から祝辞をいただいた。株サンゲツ中国四国支社 大同隆之支社長の乾杯のご発声に続いて和やかに懇親会が開始された。約10年に渡り事務局長を務められた藤本浩之様より退任の挨拶をいただき、長年のご尽力に感謝し花束を贈呈した。その後、賛助会員・卸組合員(メーカー)のご紹介と挨拶の後、竹内理事の中締めで懇親会は無事終了した。



開会挨拶：岡田展政理事長



司会進行：中島祥治副理事長



成立宣言：池田君美副理事長



ご祝辞：広島県中小企業団体中央会  
赤羽政哉主事



事業計画：岡田展政理事長



決算報告：藤本浩之事務局長



令和7年度予算案報告：  
金行義也専務理事

## 永年勤続従業員表彰式



永年勤続表彰



お祝いの挨拶：岡田展政理事長



広島県職業能力開発協会  
武田明彦センター長



表彰者と組合役員との集合写真

## 懇親会



## 藤本事務局長退任

第61回通常総会をもって、事務局長を約10年務められた藤本浩之氏が退任することになりました。懇親会の席上で退任の挨拶をされ、就任当初の苦労話や、青年部とのガチンコエピソード、各事業委員会の思い出などを懐かしそうにお話をされていました。

岡田理事長より花束贈呈と会場の皆さんとの満場の拍手長で長年の労をねぎらいました。

長年に渡り組合の発展と運営にご尽力頂き有り難うございました。

退任後しばらくはゆっくりとして、趣味の山登りを楽しみたいとのことでした。



藤本事務局長退任挨拶



岡田理事長よりお礼と握手



岡田理事長より 花束贈呈



藤本事務局長 拍手を受けながら降壇

## 令和7年度 研修親睦旅行

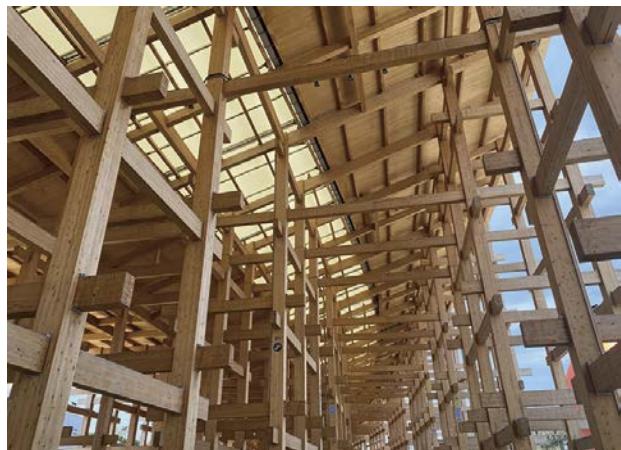
MA-DO(株) 池田君美

今年度では2年ぶりに6月20・21日の2日間で組合の研修親睦旅行を開催することになりました。

本旅行事業では①コミュニケーションの促進②チームワークの強化③人材定着という指針のもと、組合員同士の交流を深め仲間を作り、満足感を得ることで組合活動への理解を深めてもらう。また研修・交流等を通じて情報量をふやし自



大阪万博 ガンダム像の前で集合写真



大阪万博 大屋根リング



左より佐々木さん、吉岡理事、岡田理事長

己研鑽に努める。ことを目的として実施いたしました。

今年は大阪万博が開催されていることもあり、1日目を日本での20年ぶりの万博をメインの訪問先としました。私たち建築業界に従事しているものとして大屋根リングなどの伝統技術と現代技術の結晶美、また素材や再利用を見越したサスティナブル様式等、今私たちが考慮しないといけない課題を建築として具現化したものが多く体験することができたとおもいます。

2日目は淡路島へ移動し北淡震災記念公園を訪れました。阪神淡路大震災から早や30年。当時、私は大阪在住で学生でしたが神戸の友人と連絡が取れなくなったり、常に報道される悲惨な状況、ボランティアで必要物資を集め作業など記念館を訪れたことで様々な記憶がよみがえりました。



大阪万博  
ヘルスケアパビリオン



大阪万博  
ミヤクミヤク像



大阪万博 ポーランドパビリオン



## 広島県室内装飾事業協同組合

その後多くの人々の防災意識も高まっていると思いますが私たちが常に業務をとおしてできることは何なのか？これから課題の一つなのは必須だと思います。

その後、レジャーでニジゲンノモリでの散策を企画しました。ニジゲンノモリは話題のアニメやキャラクターと自然が融合した広大なアトラクションパークです。ゆっくり散策やアトラクション体験をしていただければと思ってましたが6月とし

ては異例の35度越え快晴、屋内はほぼ課金制、屋外は涼をとれるところもあり無く、暑さが厳しすぎてレジャーが苦行に変わったのは言うまでもありません。

短い日程ではありますが皆様と交流を深めるとともに、多くの学びが得られる有意義な旅行となりました。幹事としては初めての試みでしたが皆様のご協力のもと無事終えることができました。ありがとうございました。



震源地に出現した断層のズレを見てびびりました



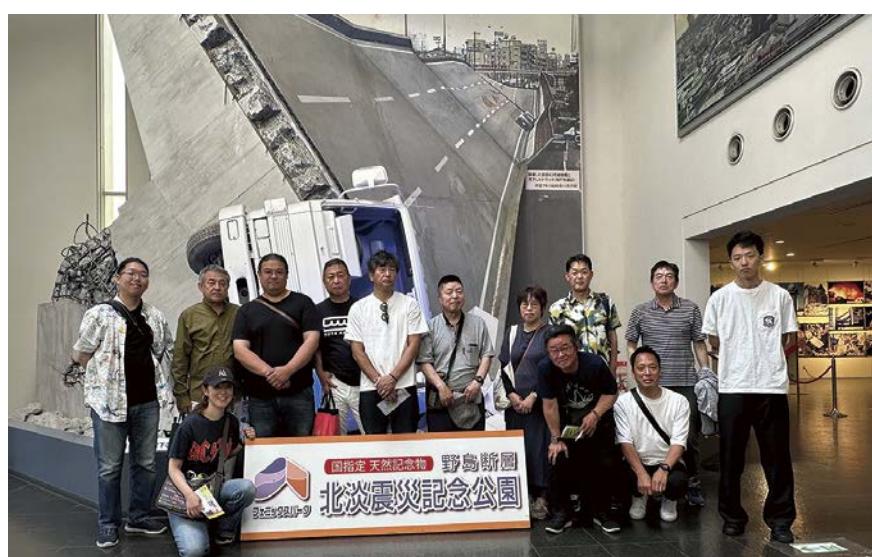
実物大のゴジラアトラクション



ナルトアトラクション



クレヨンしんちゃん  
アトラクション



震災記念公園で集合写真



明石海峡大橋 絶景です

## 令和7年度 技能検定トライアル

2025年7月3日(木)、4日(金)の2日間で広島県立産業会館にて技能検定実技トライアル、7月26日(土)にポリテクセンター広島で技能検定学科トライアルを実施しました。

8月2日(土)に行われる実技技能検定試験と、8月31日(日)9月7日(日)に行われる学科技能検定試験に向けて、受検者が万全の状態で試験に臨めるように実技トライアルでは、4名の講師から施工内容の説明や作業手順のポイントなどを実技指導と解説でとても分かり易く教えて頂きました。丁寧な実技指導で受検者の理解度もかなり高まったように感じました。

壁製作業講師は東京内装技能士会会長 山崎様、2021年技能グランプリ壁装職種金賞受賞 池田様、プラスチック系床仕上げ作業講師は京都内装仕上技能士会副会長 坪倉様、化粧フィルム講師は広島組合1級技能士の西河様です。

学科トライアルでは、ポリテクセンター広島の講師2名が受講者専用のパソコンを使用し、過去問題と出題傾向などを解説してもらいました。

番号	氏名	事業所<紹介者>	科目
1	村上 裕昭	(有)村上装飾	壁装1級
2	竹内 裕一朗	竹内装飾(株)	壁装2級
3	寶積 隼人	竹内装飾(株)	壁装2級
4	太尾田 智也	竹内装飾(株)	壁装2級
5	吉田 大識	(株)ムクダ	壁装2級
6	大江 貴光	青山装飾(株)	壁装2級
7	小畠 淳	オバタ装飾工事	壁装2級
8	河村 稔也	稔内装<(株)中山装飾>	プラ床1級
9	松岡 秀典	(有)アン・シャーリー	プラ床1級
10	豊村 恒太	(有)アン・シャーリー	プラ床1級
11	袖川 崇志	青山装飾(株)	プラ床1級
12	平田 淳史	建築工房ヒラタ	プラ床1級
13	小畠 和也	オバタ装飾工事	プラ床2級
14	日野 龍一	(株)マルケン装飾	プラ床2級
15	世良 和彦	(有)セラケンサービス	化粧F2級

今回のトライアルには、以下の種目に実技13名、学科9名の方にご参加頂きました。

### 【実技トライアル】

表装（壁装作業）：1級1名 2級6名

内装仕上げ（プラスチック系床仕上げ工事作業）：  
1級4名 2級1名

内装仕上げ（化粧フィルム工事）：1名

### 【学科トライアル】

表装（壁装作業）：1級1名 2級5名

内装仕上げ（プラスチック系床仕上げ工事作業）：  
1級2名 2級1名

本トライアルに参加された受検者皆様の技能向上と試験合格に繋がることを心より願っております。



壁装業務学科説明



壁装業務学科説明（パソコン画面での出題傾向）

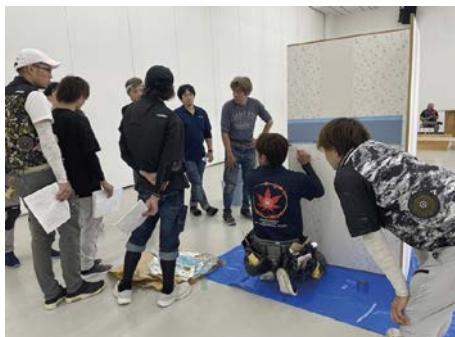


プラ床作業学科説明



プラ床作業学科説明（パソコン画面でのポイント説明）

## 広島県室内装飾事業協同組合



技能検定試験 プラ床

国家技能検定試験会場  
（六島建設実力検査会議会）



## 令和7年度 防火壁装・防炎業務講習会

2025年8月27日、28日で防火壁装・防炎業務講習会を開催しました。

8月27日(水) 広島会場はRCC文化センターで午前、午後の2回開催にて80名の参加、8月28日(木) 福山会場は備後地域地場産業振興センターで25名の参加にて合計105名の方に受講して頂きました。

本講習会は3年毎の受講になりますが、現在広島組合では約400名の方が対象になっています。来年が特に多いため前倒し受講をお願いし、今回ご協力を頂いた方には本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

防火壁装講習会広島会場は午前の部を青山和之



防火壁装講習会 広島会場



防炎業務講習会 広島会場



防火壁装・防炎業務講習会 福山会場



防火壁装講習会 広島組合理事 倉迫講師



防火壁装講習会(福山会場) 広島組合理事 吉岡講師



防炎業務講習会(公財)日本防炎協会 砂田講師

## 2025年度 登録内装仕上工事基幹技能者の更新試験

2025年度 登録内装仕上工事基幹技能者の更新試験が行われ9名の方が合格しました。

登録基幹技能者は、熟達した作業能力と豊富な知識を持つとともに、現場をまとめ、効率的に作業を進めるためのマネジメント能力に優れた技能者の証です。

専門工事業団体の資格認定を受けた方で、建設キャリアアップシステムでは、能力評価基準の最高位であるレベル4：ゴールドカード（高度なマネジメント能力を有する技能者）として位置づけられています。建設工事の品質確保や安全管理などが社会的にも大きな関心が寄せられている中、登録基幹技能者への期待はますます高まっている資格です。

### 2025年度 登録内装仕上工事基幹技能者 日賃連資格合格一覧

氏 名	事業所名（紹介者）
井 上 薫	(有)安佐フロア
頼 岡 弘 和	HIROインテリア
久 門 一 義	(有)インテリア久門
青 山 和 之	青山装飾(株)
吉 岡 猛	(有)スペース・デコ
溝 口 章 信	竹内装飾(株)
岩 岡 秀 明	(株)UNITY&Co
中 西 弘 昌	(株)マツオカ
松 山 将 大	ケイショウ

## 中国ブロック会議開催

9月5日(金) オリエンタルホテル広島にて中国5県の理事長が一堂に会し中国ブロック会が開催されました。

前日の台風で開催が危ぶまれましたが、中国地方には殆ど影響は無く無事開催されました。

本年度は、日本壁装協会、二瓶事務局長による防火壁装ラベル申請システム（web化）の説明会と日装連の竹内副理事長による特定外国人制度に

についての説明会を実施しました。

その後、中国ブロック会 岡田会長の開会挨拶でブロック会は開始され、令和6年度の収支決算報告、令和7年度予算案審議、各協議事項、国交省への提出事案やインテリアデコレーター試験等について議論を行いました。

その後懇親会では各县の理事、事務局の皆様と交流を図り無事ブロック会議は終了しました。



防火壁装ラベル申請システム説明会 日本壁装協会 二瓶事務局長

特定技能外国人制度 説明会  
日装連 竹内副理事長



開会挨拶 岡田会長



議事進行  
岡田会長



司会  
広島組合 池田副理事長



### ～懇親会～



開会挨拶  
岡田会長



挨拶  
日装連  
竹内副理事長



三島理事長 (しまね組合)  
による1本締め



挨拶  
杉内副会长 (鳥取組合)



乾杯ご発生  
横田副会长 (山口組合) 日本壁装協会 二瓶事務局長



## 青年部会活動

青年部会 部会長・(有)セラケンサービス 世良和彦



司会 沼田副部会長 世良部会長挨拶と議事進行

第22期青年部会、今期事業も5月総会よりスタートし今期のメンバーは新規部会員2名を迎えたが卒業や退会もあり1名減、社内の入れ替わりも多く7月の納涼会では少し新鮮な顔ぶれを感じることが出来た、9月の府中東高等学校出前授業では昨年までの2ヵ年計画に変わり新たなカリキュラムを組む中で、池田前部会長によるカラーコーディネート講習やマイコーデインテリア着せ



渡辺副部会長 決算報告 令和7年予算案提案

替えシミュレーション (© Sangetsu Corporation) を活用した事で内装材の知識や材料を選ぶ難しさなどをしっかり伝える事が出来た、しかしクロス貼り実習においては部会員の中ではクロスを貼れる人員は少なく各社の職人に手伝って貰う事で成り立っている状態だ、部会内において5年以内には約3分の1が卒業を予定し、青年部会員のメーカーや問屋を除いた内装工事店の割合は新規加入が無ければ5割を割る見込みで、持続可能な部会活動を目指して行く上で内装工事店の次世代の育成や新規部会員の加入は最大の課題でありそれは内装・建築業界全体のなり手不足という問題へと波及していく。青年部会としてその問題に取り組むことは難しいが多くの方がその問題について青年部会を通して見ることが出来るのではないかと思う。これから青年部会の在り方として、材料費や会議室等の高騰や人手不足、新法令改正によるコンプライアンスやDX化など多くの問題を青年部も抱えている、今後ひとつの組織としてしなければならない事を組織を担う一員としてその問題に取り組み、普段何気なく晒されている周りの変化を自らの活動で変える事が出来る、青年部会はそうした場でありたいと思っている。



懇親会 日装連 竹内副理事長挨拶



懇親会 風景

## 青年部会体験授業報告

青年部会 部会長 世良和彦

9月17日(水) 広島県立府中東高等学校 インテリア科2年生 23名を対象に体験授業を行いました。

目的は身近にある建築業の室内装飾の仕事を体験してもらい、地元にある企業を周知すると同時に

生徒さんの職業選択の幅を広げ、地元室内装飾企業への若手の人材確保に繋げていくことです。

体験授業は、青年部会11名参加で、座学、検定台によるクロスの実演、クロスファイル作りを楽しみながらやってもらいました。

## 広島県室内装飾事業協同組合

授業ではカッターナイフや電動工具を使用するため工具の特性と、危険予知についての指導を行い作業に取り掛かりました。

参加した青年部会のメンバーも生徒さんに教える事で新しい気づきや、分かりやすく教える事の難しさや、質問に対しての受け答えなど改めて生徒さん以上に学ぶことが出来ました。

一緒に体験授業した生徒さんと、近い将来一緒に、同じ内装業界で顔が見れたら良いなと思います。

今後3校の体験授業を実施予定ですが、少しでも興味を持ってもらえるよう引き続き取組んで行きます。



体験授業挨拶  
世良部会長、池田前部会長



座学 世良部会長



座学 世良部会長



体験授業 岡田理事長にも参加頂きました

### 新規加入組合員のご紹介

(令和6年9月～令和7年9月加入)

#### ★正組合員

- ・(株)ワース 代表者 山領伊織  
安芸郡府中町浜田3-4-28
- ・(株)ツカサ広島営業所 代表者 大杉充郎  
広島市西区商工センター2-16-29
- ・(株)ビーカム 代表者 原田大輔  
広島市中区広瀬北町7-25
- ・(株)インテック 代表者 打越太輔  
広島市西区庚午中1-8-22
- ・(株)インテリオール 代表者 飯原翔平  
広島市南区堀越1-7-10-7

### 組合からのお知らせ

#### ・令和8年新年互礼会

日時：令和8年1月9日(金)  
午後4時00分より開催  
会場：ANAクラウンプラザホテル広島  
広島市中区中町7-20  
※ 正式なご案内は11月下旬予定です

- ・アクトワークス(株) 代表者 泉迫高志  
広島市佐伯区藤ノ木1-31-1
- ・(株)tim.K 代表者 吉田和哉  
広島市安佐北区亀山9-1-17
- ・(有)総合インテリア河野 代表者 河野亘  
東広島市八本松飯田731-1

#### ★准組合員

- ・オカダイインテリア 代表者 岡田将悟  
広島市中区土橋町3-18-302
- ・インテリア飛戸 代表者 飛戸公宏  
広島市南区南大河町36-4

### 編集後記

広報・渉外委員長 萩田浩士

今号についても各委員会、青年部会及び組合員の皆様の日頃の熱心な活動への取り組みのおかげで、12ページに渡り様々な記事を掲載する事が出来ました。今号の編集にご協力頂いた皆様には大変感謝しております。

少しでも多くの方々に目を通していただける様に今後の編集も工夫していこうと思います。

最後に藤本事務局長、10年間お疲れ様でした。